

これまでの取組みと住民自治検討会議の位置付け

現状と課題

人口減少・少子化・超高齢社会・地域課題の多様化・担い手不足など

これまでの取組み・検討概要

このまちのあるべき姿・福知山市の目指す協働によるまちづくりとは

- (1) 平成 21 年度 市民協働まちづくり研修会 (全 6 回)
- (2) 平成 22 年度 市民協働まちづくり検討会 (全 6 回) ⇒H23. 2. 22 提言
- (3) 平成 23 年 4 月～平成 25 年 9 月 市民協働推進会議開催 (全 124 回)

提言 (平成 25 年 9 月)

市民・地域・ボランティア・NPO・事業者・行政などの多様な主体が互いに対等な立場で協働し、郷土への愛着と誇りのもとに、地域の特性や実情に応じた地域運営ができる新たな市民主体の仕組みづくりが必要
⇒『地域協議会導入』『自治基本条例制定』『中間支援組織設置』の 3 点を提言

「未来創造 福知山」の策定
(平成 28 年 3 月)

地域づくり組織 (地域協議会) の設立

- H27. 3. 28 三和地域協議会設立総会開催
- H27. 7. 14 夜久野みらいまちづくり協議会設立総会
- H28. 3. 21 大江まちづくり住民協議会設立総会

福知山市自治基本条例の制定

市民、市議会、市の役割と責務、まちづくりへの市民の参画と協働の仕組み、市政運営のあり方等まちづくりに関する基本的なルールを定めた、福知山市におけるまちづくりの最高規範。(平成 29 年 3 月制定)

住民自治検討会議 (平成 29 年 8 月～)

福知山市における各地域や組織・住民自治の実態の把握と共有

住民自治のあり方・あるべき姿について